取扱説明書

監視ツール

RS−PG3

VE-PG3専用

本書では、この監視ツールを使用するための基本的な操作や機能について説明しています。
必要に応じてご覧ください。

Icom Inc.

はじめに

VE-PG3に接続された無線機の設置場所には、無線機の送信状態などを監視する管理者が必要です。
設置した場所に管理者がいない状態でご使用になるときは、VE-PG3と同じネットワークに接続されたパソコンから監視ツールを起動して、監視できる環境を構築してください。
本書では、この監視ツールを使用するための基本的な操作や機能について説明しています。

本製品の概要について

◎ VE-PG3に接続された無線機の設置場所に管理者がいない状態でも、リモートからVE-PG3に接続された無線機に対しての制御状態を監視できます。
VE-PG3が意図しない送信制御になった場合は、リモートによりVE-PG3の送信制御を停止できます。
◎ 各サイトにVE-PG3を1台ずつ設定して、最大64サイトの運用状態を監視できます。(無線機の総数は最大512台)

動作環境について

次の日本語OSがインストールされたパソコンをご使用ください。
◎ Microsoft® Windows® 8　(32ビット/64ビット版)
◎ Microsoft® Windows® 7　(32ビット/64ビット版：Service Pack1以降)
◎ Microsoft® Windows Vista®　(32ビット/64ビット版：Service Pack2以降)
◎ Microsoft® Windows® XP　(32ビット版：Service Pack3以降)

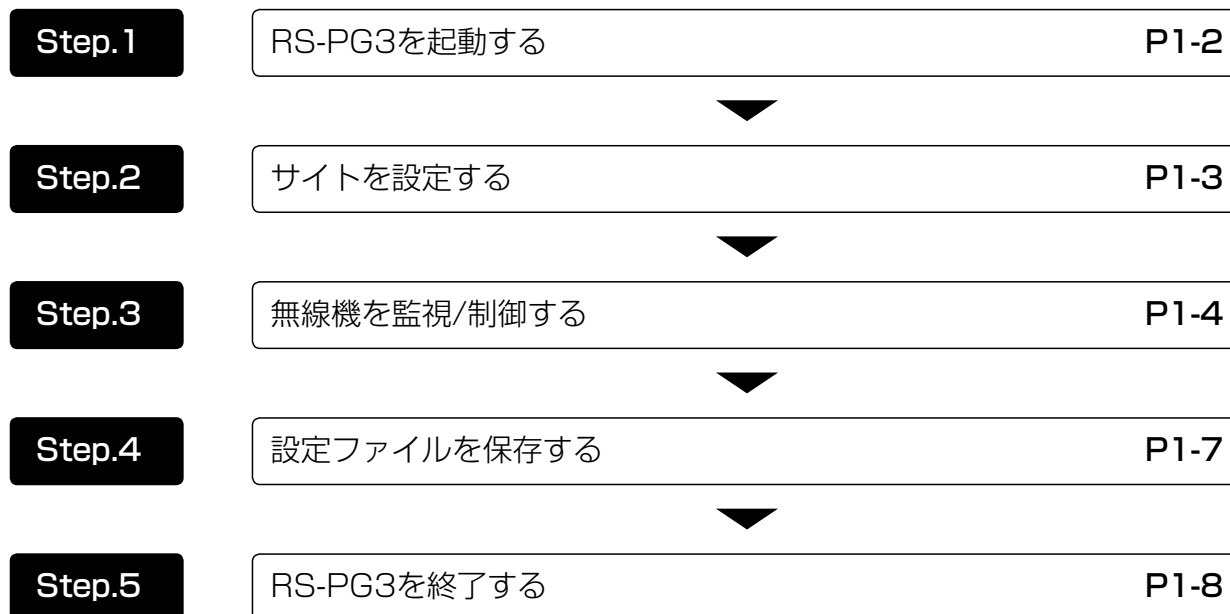
※ Microsoft® Windows® 8 RTでは使用できません。
※ 本書では、本製品の各対応OSに対する記載について、下記のように表記しています。
Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Proは、Windows 8と表記します。
Microsoft® Windows® 7 Home Premium、Microsoft® Windows® 7 ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® 7 Ultimateは、Windows 7と表記します。
Microsoft® Windows Vista® Home Basic、Microsoft® Windows Vista® Home Premium、Microsoft® Windows Vista® BusinessおよびMicrosoft® Windows Vista® Ultimateは、Windows Vistaと表記します。
Microsoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professionalは、Windows XPと表記します。
※ 本書は、RS-PG3 Ver. 1.04を使用して説明しています。
※ 本書では、Windows 7の画面を例に説明してします。
※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

登録商標/著作権について

はじめに

ご使用までの流れ

はじめてRS-PG3をお使いになる場合は、次の手順にしたがってお読みください。

※各Stepの右端に記載する数字は、本書の参照箇所です。

RS-PG3について

◎RS-PG3は、VE-PG3専用の監視ツールです。

◎RS-PG3では、各サイトにVE-PG3を1台ずつ設定して、最大64サイトの運用状態を監視できます。

◎1台のVE-PG3を複数のRS-PG3で監視できません。

◎RS-PG3がVE-PG3に接続できなかったり、VE-PG3とのネットワークが切断されたりすると、約120秒間隔でVE-PG3に再接続します。

はじめてお使いになるには

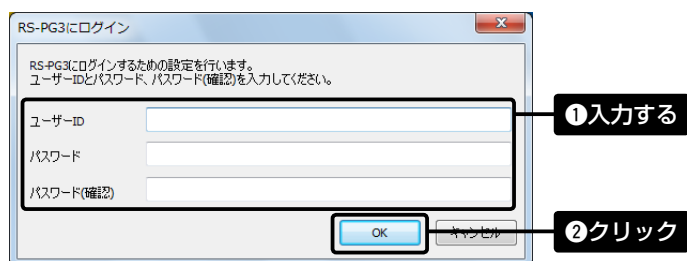
第 1 章

この章では、
本製品をご使用いただくために必要な基本設定の手順を説明しています。

Step1. RS-PG3を起動する

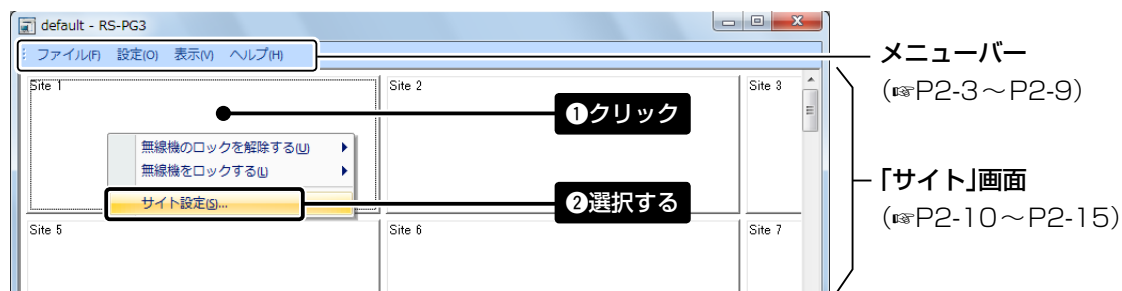
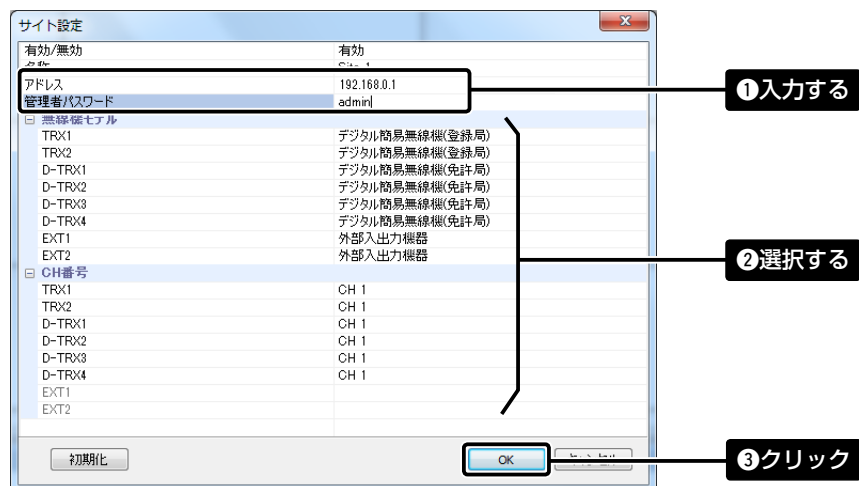
【ご注意】
初回起動時に、RS-PG3を使用するためのユーザーIDとパスワードを、「RS-PG3にログイン」画面(☞手順2)で設定してください。
※次回起動時は、設定したユーザーID、パスワードの入力が必要です。
※ユーザーID、パスワードが不明な場合は起動できません。
　初期化操作については、4-2ページをご覧ください。
※再設定すると、過去に作成した設定ファイル(P1-7)は、ユーザーID、パスワードが一致しないと読み込めませんのでご注意ください。

1 〈スタート〉(ロゴボタン)→[すべてのプログラム]→[Icom]→[RS-PG3]→[RS-PG3]の順に操作します。
デスクトップ上の[RS-PG3]アイコンをダブルクリックしても、起動できます。
※本書では、Windows 7を例に説明しています。

2 任意の31文字以内で、[ユーザーID]と[パスワード]、[パスワード(確認)]を入力して、〈OK〉をクリックします。
RS-PG3の操作画面が表示されます。

※設定するユーザーID、パスワードは、容易に推測されないものにしてください。
　数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものが有効です。

Step2. サイトを設定する

1 RS-PG3起動後、背景色が白色のサイト(例:Site 1)をクリックして、表示されたメニューで「サイト設定(S)...」を選択します。

※操作画面に表示される項目については本書2章、サイトの背景色については本書3章をご覧ください。

2 「サイト設定」画面が表示されたら、監視するVE-PG3のIPアドレスと管理者パスワード、VE-PG3に接続する無線機を設定して、〈OK〉をクリックします。

※上記は、表示例です。

「サイト設定」画面の設定項目について

無線機モデルは、VE-PG3の「ポート詳細設定」メニューで設定した機種と同じ設定をしてください。
名称、CH番号は、RS-PG3上での表示用として使用します。
※CH番号は、無線機で使用する通話チャンネルには連動していません。

「名称」　:10文字以内
「無線機モデル」:デジタル簡易無線機(登録局)　IC-D50、IC-D60、IC-DPR5、IC-DPR6、IC-D5005、IC-DPR1
:デジタル簡易無線機(免許局)　IC-DU5505CN
:特定小電力　IC-4800、IC-4810
:特定小電力(同時通話型)　IC-MS4880
:外部入出力機器　無線機以外の機器が接続されている場合
「CH番号」　:CH1～CH14、呼出CH、CH16～CH30(デジタル簡易無線機(登録局)選択時)
:CH1～CH65(デジタル簡易無線機(免許局)選択時)
:CH1～CH20、中継CH1～中継CH27(特定小電力/特定小電力(同時通話型)選択時)

Step3. 無線機を監視/制御する

IPアドレス、管理者パスワードが正しく入力されると、サイトの背景色が緑色に変わり、各ポートに接続している無線機を監視できます。

※サイトの背景色、各ポートの状態表示について詳しくは、本書3章をご覧ください。

※上記は、表示例です。

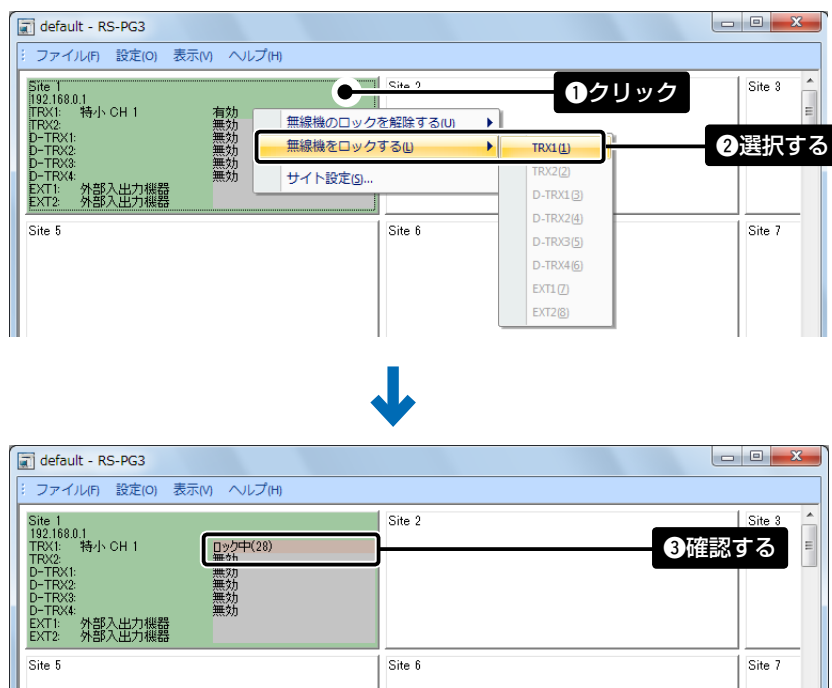
Step3. 無線機を監視/制御する(つづき)

■VE-PG3に接続された無線機の送信を停止(ロック)するとき

VE-PG3に接続された無線機が意図しない送信状態になった場合は、リモートにより無線機の送信を停止できます。

(例)[TRX1]ポートに接続された無線機の送信を停止する場合

①操作するサイトをクリックします。
②表示されたメニューで「無線機をロックする(L)」、「TRX1(1)」を順に選択すると、[TRX1]ポートに接続された無線機の送信を停止します。

※無線機の送信を停止中は、「ロック中(秒)」を表示します。
※連続送信時間(☞P2-4)を経過した場合、自動的に無線機の送信を停止します。

※上記は、表示例です。

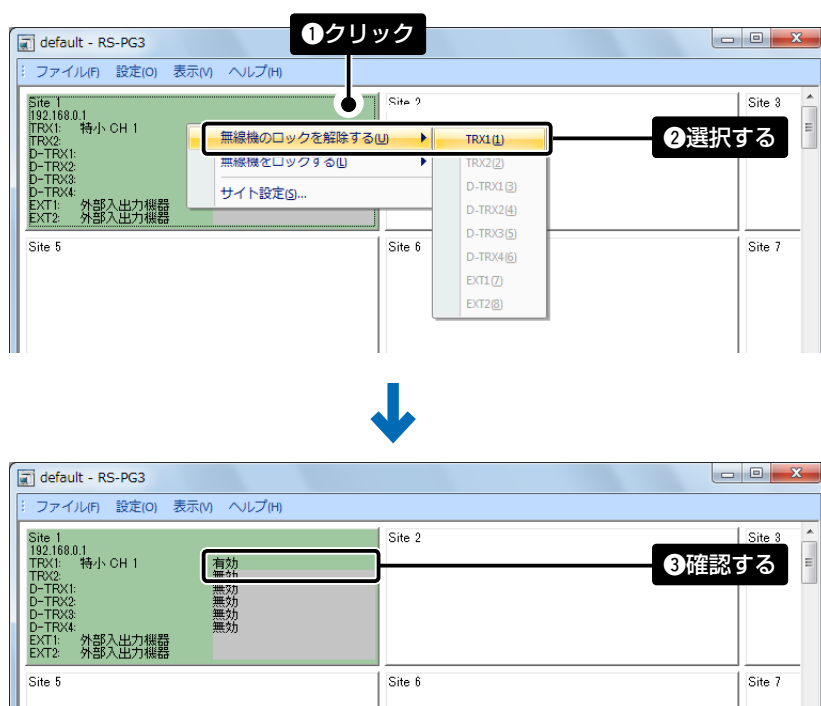
Step3. 無線機を監視/制御する(つづき)

■VE-PG3に接続された無線機の送信停止(ロック)を解除するとき

VE-PG3に接続された無線機に対して、リモートにより無線機の送信停止を解除できます。

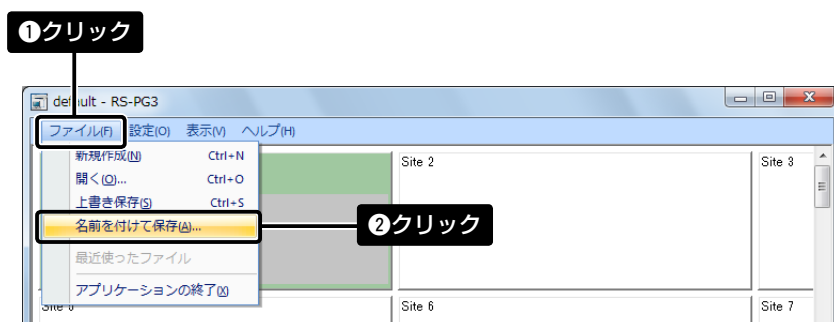
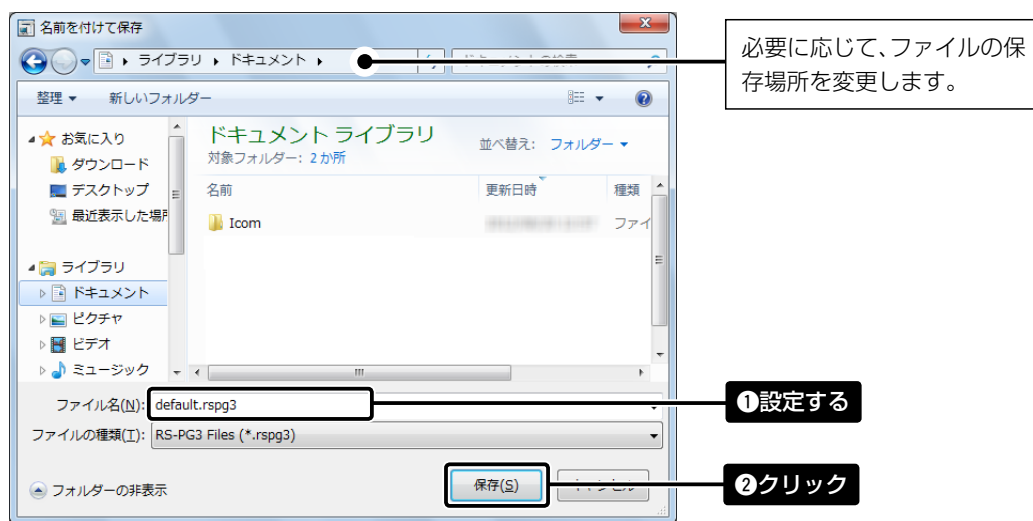
(例)[TRX1]ポートに接続された無線機の送信停止を解除する場合

①操作するサイトをクリックします。
②表示されたメニューで「無線機のロックを解除する(U)」、「TRX1(1)」を順に選択すると、[TRX1]ポートに接続された無線機の送信停止を解除します。

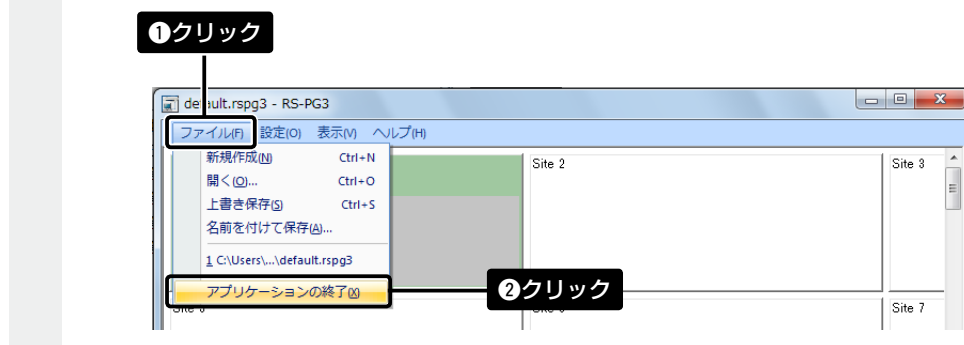
※解除後、状態表示は「有効」になります。
※ロック規制時間(☞P2-5)を経過すると、自動的に無線機の送信停止を解除します。

※上記は、表示例です。

Step4. 設定ファイルを保存する

設定した内容をファイルとして、パソコンに保存できます。
※設定内容を保存しておくと、次回起動時に利用できます。

1 メニューバーの「ファイル(F)」→「名前を付けて保存(A)...」をクリックします。

2 「名前を付けて保存」画面が表示されたら、任意のファイル名を設定して、〈保存(S)〉をクリックします。
※「.rspg3」の拡張子がついた設定ファイルが、選択した場所に保存されます。

設定ファイルの保存場所について
次回起動時は、最後に保存した設定ファイルを自動的に読み込みますので、設定ファイルを保存した場所から移動しないことをおすすめします。

Step5. RS-PG3を終了する

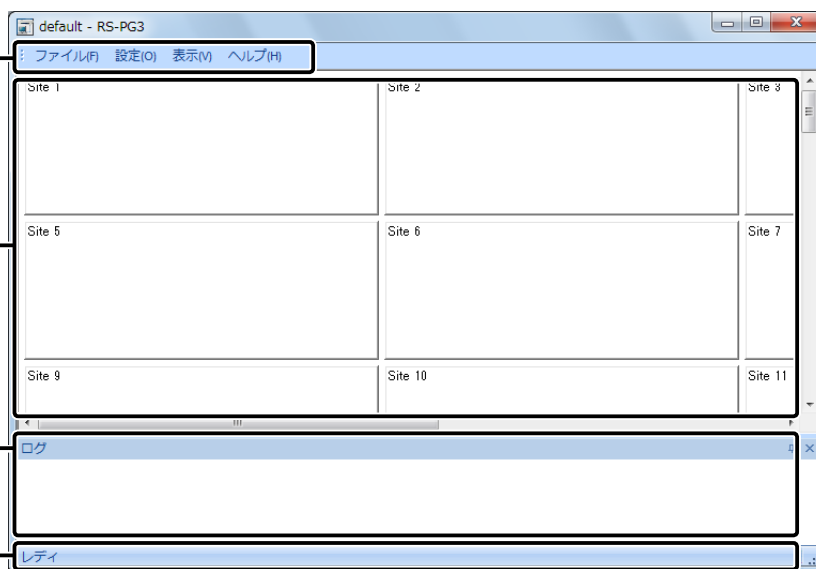
メニューバーの「ファイル(F)」→「アプリケーションの終了(X)」をクリックして、RS-PG3を終了します。
※画面右上の[×]をクリックしても、終了できます。

VE-PG3に接続された無線機の送信停止を解除していない場合は
VE-PG3に接続された無線機の送信を停止中に「アプリケーションの終了(X)」を選択すると、確認のダイアログボックスが表示されます。
無線機の送信停止を解除する場合は、〈いいえ(N)〉をクリックして、1-6ページの手順を操作してください。
※〈はい(Y)〉をクリックすると、無線機の送信を停止した状態のまま、RS-PG3を終了します。

操作画面について

第 2 章

この章では、
操作画面に表示される各項目や機能などについて説明します。

1. 画面構成について

操作画面に表示される項目については、各参照ページをご覧ください。

2. メニューバー

操作画面に表示されるメニューバーについて説明します。

■ファイル(F)メニュー

RS-PG3の設定ファイルの新規作成、開く、保存するときなどに使用します。

①新規作成(N) Ctrl+N ……　設定ファイルを新規作成します。

②開く(O)... Ctrl+O ………　既存の設定ファイルを開きます。
※異なるユーザーID、パスワードで保存された設定ファイルは、読み込めませんのでご注意ください。

③上書き保存(S) Ctrl+S …　作業中の設定ファイルを上書き保存します。

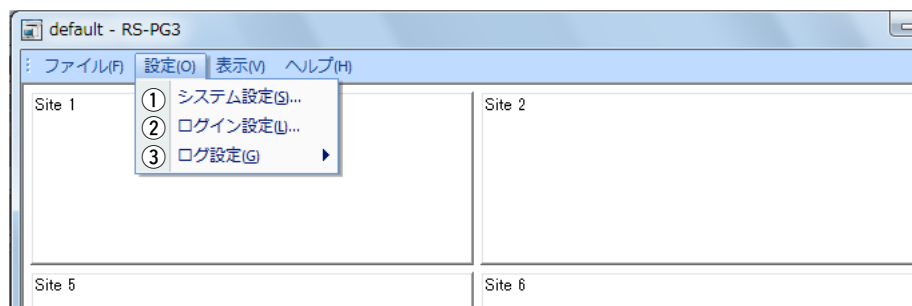
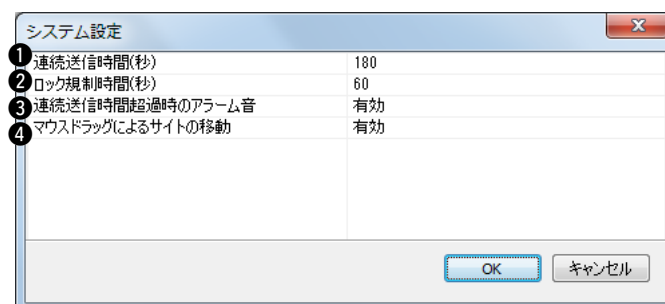
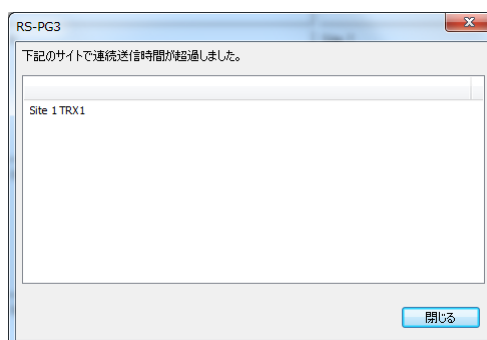
④名前を付けて保存(A)... …　作業中の設定ファイルに名前を付けて保存します。

⑤最近使ったファイル ……　最近使用した設定ファイルを表示します。

⑥アプリケーションの終了(X)　RS-PG3を終了します。
※タイトルバーの[×]をクリックしてもRS-PG3を終了します。

2. メニューバー(つづき)

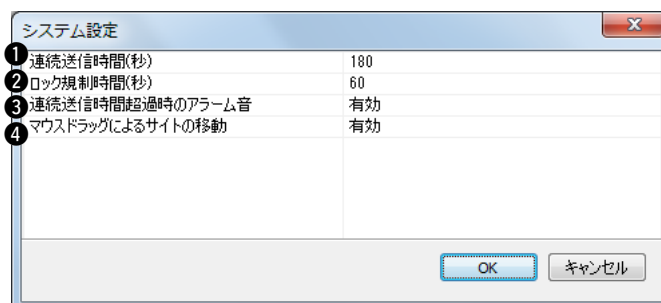
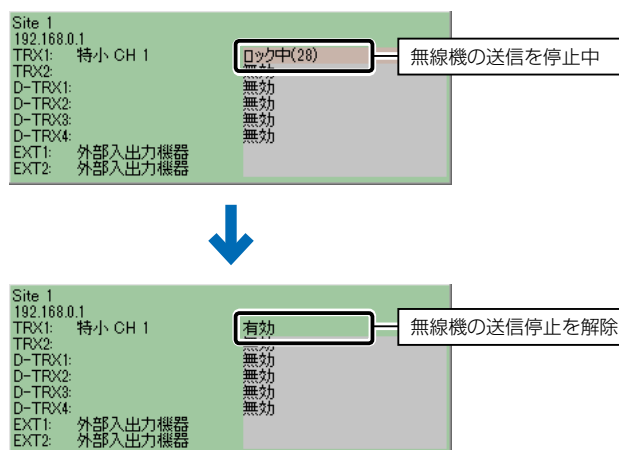
■設定(O)メニュー

RS-PG3の共通設定項目を表示します。

①システム設定(S)... ……… 「システム設定」画面を表示します。

❶連続送信時間(秒) ……… VE-PG3に接続された無線機の送信を停止するまでの時間(秒)を「60～180」の範囲で設定します。(出荷時の設定:180)
設定時間を経過しても、連続送信している場合は、自動的に無線機の送信を停止して、確認画面を表示します。

※上記は、表示例です。

(☞次ページにつづく)

2. メニューバー

■設定(O)メニュー

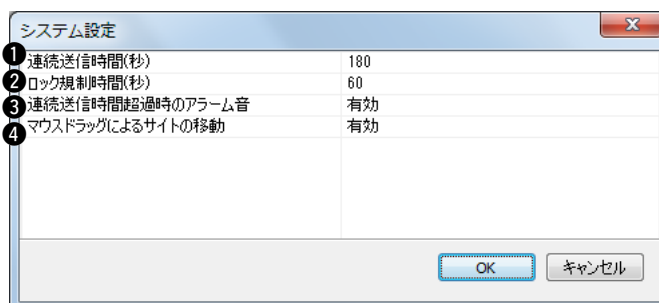
①システム設定(S)...(つづき)

❷ロック規制時間(秒)……　VE-PG3に接続された無線機の送信停止を解除するまでの時間(秒)を「0、5〜180」の範囲で設定します。　(出荷時の設定:60)
設定時間を経過すると、自動的に無線機の送信停止を解除して、無線機の状態表示が「有効」になります。

※上記は、表示例です。

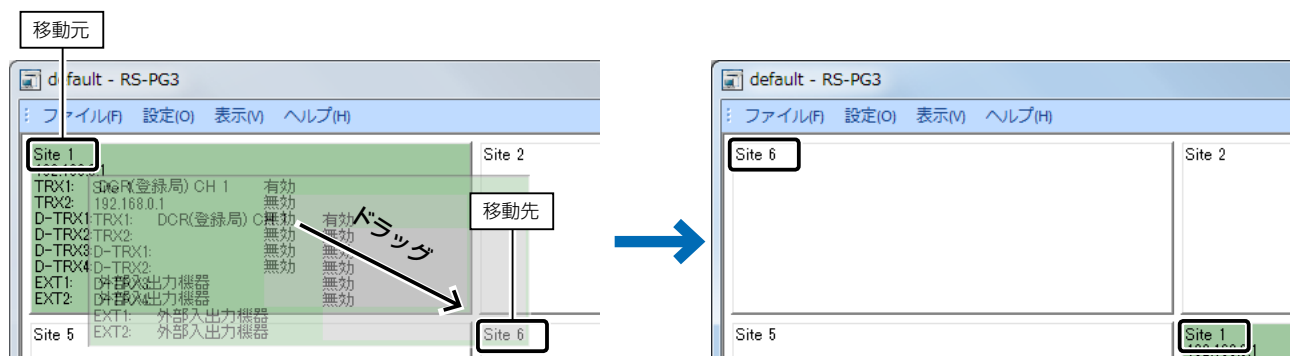
※「0」に設定した場合、自動的に無線機の送信停止を解除しません。
手動で解除するときは、1-6ページの手順を操作してください。

(☞次ページにつづく)

2. メニューバー

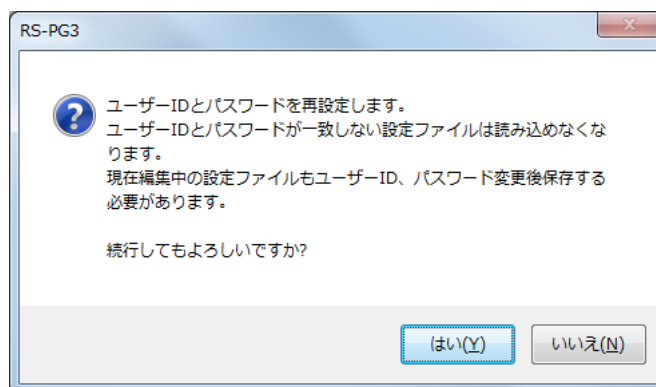
■設定(O)メニュー

①システム設定(S)...(つづき)

❸連続送信時間超過時のアラーム音………………… [連続送信時間(秒)]欄で指定した時間を超えてVE-PG3が無線機に対して連続送信した場合のアラーム音について設定します。 (出荷時の設定:有効)
「無効」にすると、指定した時間を超えてもアラーム音は鳴りません。

❹マウスドラッグによるサイトの移動…………… サイトを選択したときのマウス操作について設定します。
(出荷時の設定:有効)
サイトを選択した状態で、マウスをドラッグ&ドロップすると、移動元と移動先が入れ替わります。(例:Site 1⇔Site 6)
「無効」にすると、サイトを選択した状態でマウス操作しても移動できません。

※上記は、表示例です。

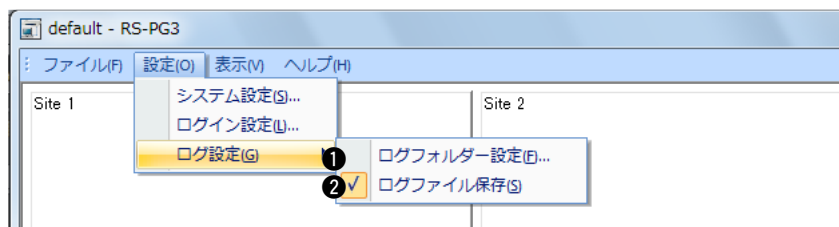
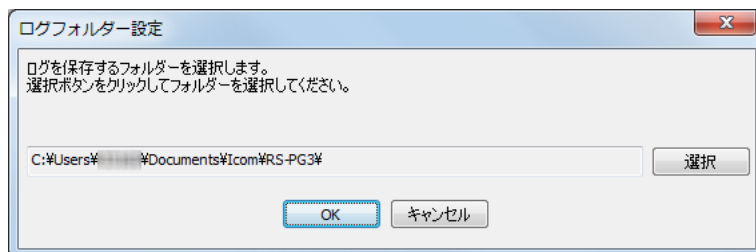
2. メニューバー

■設定(O)メニュー(つづき)

②ログイン設定(L)... ………　ユーザーIDとパスワードを再設定します。

※操作については、4-3ページをご覧ください。
　再設定すると、過去に作成した設定ファイルは、ユーザーID、パスワードが一致しないと読み込めませんのでご注意ください。

2. メニューバー

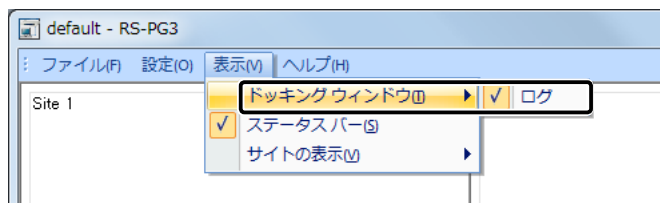
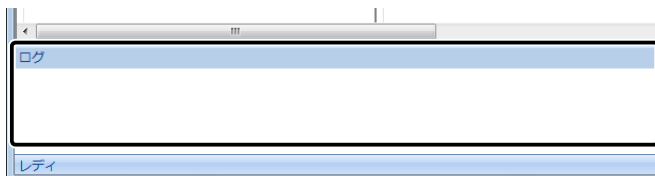
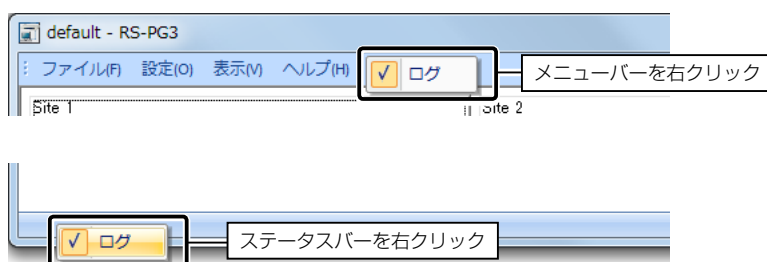
■設定(O)メニュー(つづき)

③ログ設定(G) ……………… 「ログ設定」メニューを表示します。

❶ログフォルダー設定(F)... ログファイルの保存先を設定します。
選択すると、「ログフォルダー設定」画面を表示します。

❷ログファイル保存(S) … ログファイルを保存する/しないを設定します。
(出荷時の設定:✔ログファイル保存(S))
チェックを入れると、ログファイルを保存します。

2. メニューバー(つづき)

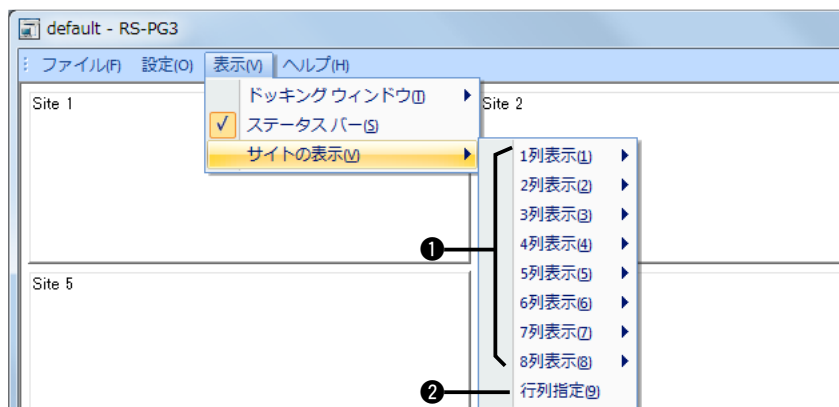
■表示(V)メニュー

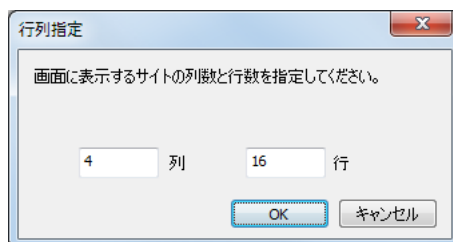
RS-PG3の表示に関する設定項目です。

①ドッキングウィンドウ(T)　「ログ」メニューを表示します。

ログの表示/非表示を設定します。　(出荷時の設定：✔ログ)
チェックを入れると、ログを表示します。

※メニューバー、ステータスバーを右クリックして表示されるメニューからでも上記と同様に操作できます。

②ステータスバー(S) ………　ステータスバーの表示/非表示を設定します。
(出荷時の設定:✔ステータスバー(S))
チェックを入れると、ステータスバーを表示します。

2. メニューバー

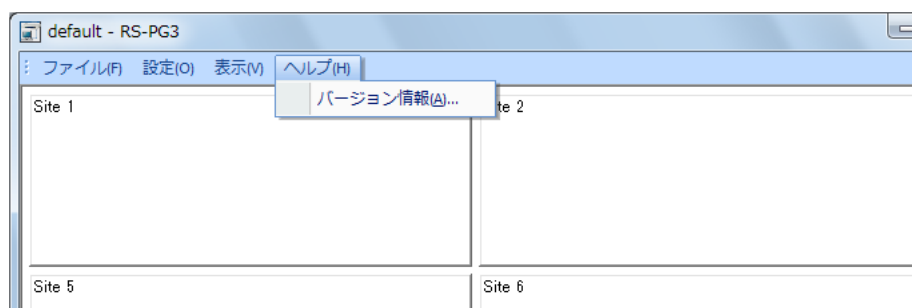
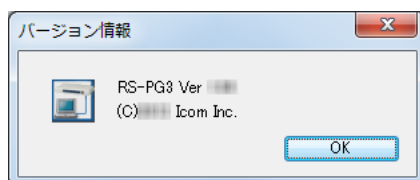
■表示(V)メニュー(つづき)

③**サイトの表示(V)** ………… 「サイトの表示」メニューを表示します。

❶**1列表示(1)～8列表示(8)** 画面に表示するサイトの列数(1～8)と行数(1～64)の組み合わせをリストから選択します。 (初回起動時:4列16行表示)

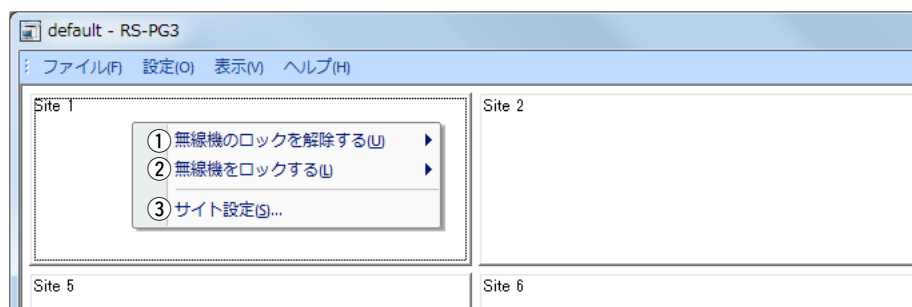
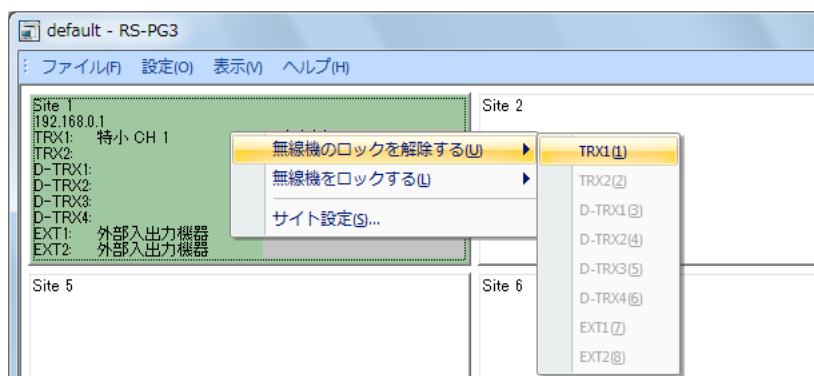
❷**行列指定(9)** …………… 「行列指定」画面を表示します。

画面に表示するサイトの列数と行数を手動で指定します。

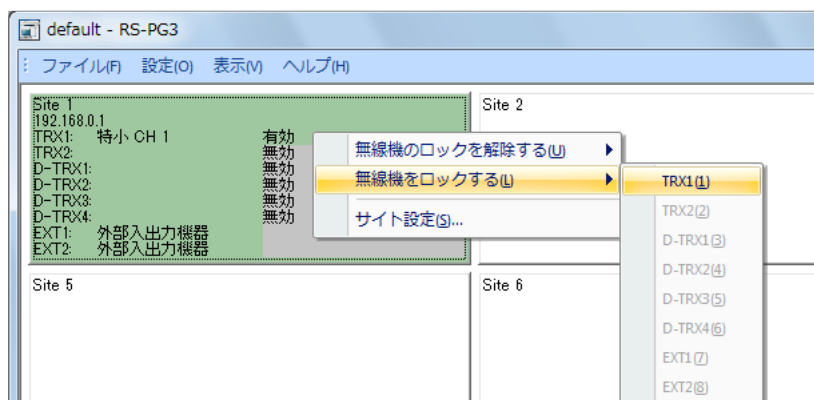
2. メニューバー(つづき)

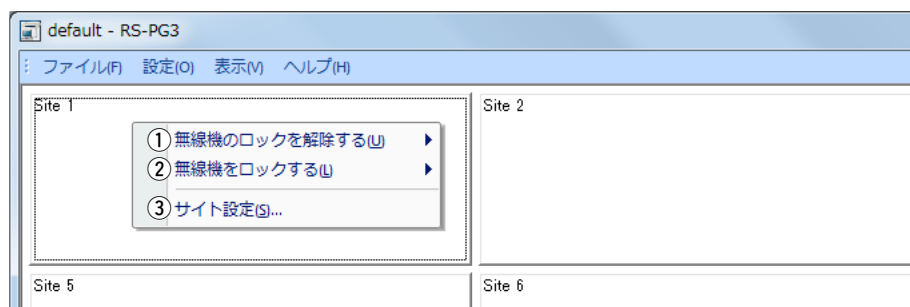
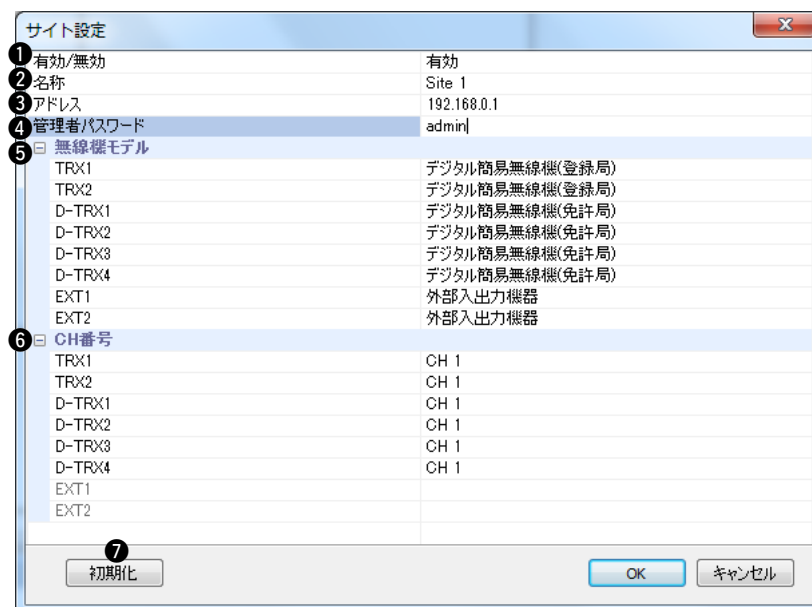
■ヘルプ(H)メニュー

RS-PG3のバージョン情報を表示します。

バージョン情報(A)... ………　バージョン、著作権情報を表示します。

3.「サイト」画面

RS-PG3では、各サイトにVE-PG3を1台ずつ設定して、最大64サイトの運用状態を監視できます。
(無線機の総数は最大512台)

サイト(例:Site 1)をクリックすると、下図のようにメニューが表示されます。

①無線機のロックを解除する(U) ……………………… VE-PG3に接続された無線機の送信停止を解除するため、VE-PG3を制御するときは、無線機が接続されたVE-PG3のポート(例:TRX(1))を指定します。

※指定できるのは、無線機が接続され、使用できる状態のポートだけです。

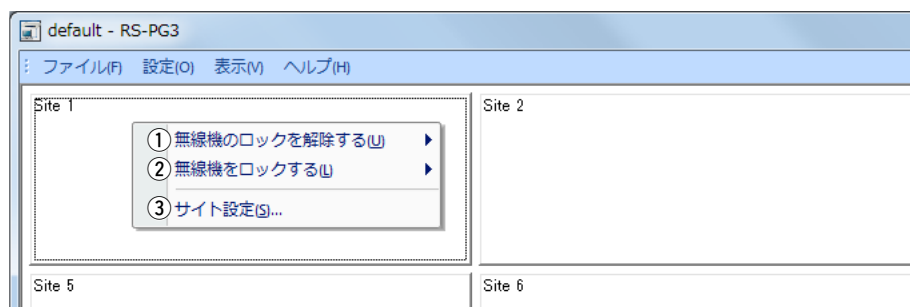
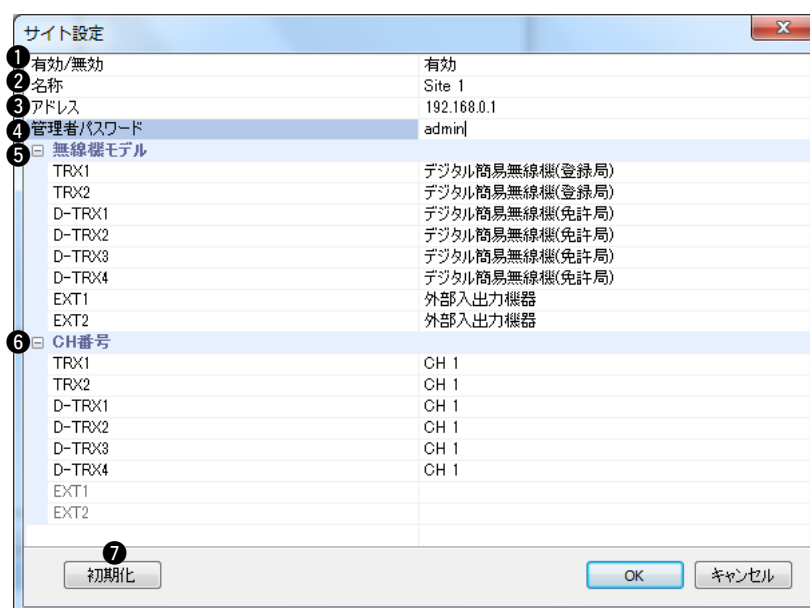
②無線機をロックする(L) … VE-PG3に接続された無線機の送信を停止するため、VE-PG3を制御するときは、無線機が接続されたVE-PG3のポート(例:TRX(1))を指定します。

※指定できるのは、無線機が接続され、使用できる状態のポートだけです。

3.「サイト」画面(つづき)

③サイト設定(S) ……………　「サイト設定」画面を表示します。

❶有効/無効 ………………　管理するサイトの有効/無効を切り替えます。　(出荷時の設定:有効)
「無効」にすると、[アドレス]欄や[管理者パスワード]欄が登録されていてもVE-PG3に接続しません。

❷名称………………………　管理するサイトの名称を10文字以内で入力します。
(出荷時の設定:Site(サイト)番号)

❸アドレス…………………　管理するVE-PG3に設定されたIPアドレス、またはドメイン名を入力します。
※ドメイン名の場合は、半角英数字255文字以内で入力します。
※アドレスの最後に「:」(コロン)を付けると、ポートを指定できます。

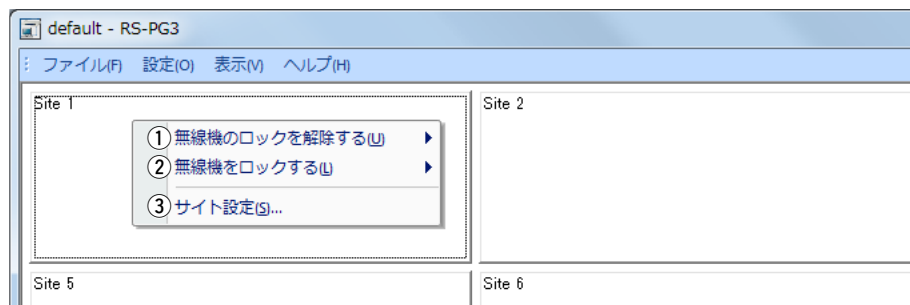
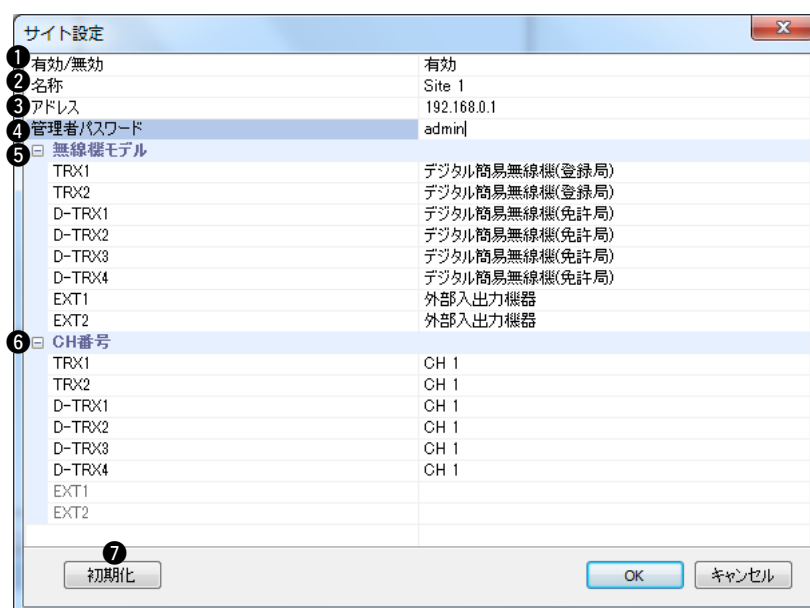
❹管理者パスワード………　管理するVE-PG3に設定されたパスワードを入力します。

3.「サイト」画面

③サイト設定(S)(つづき)…

❺無線機モデル……………

無線機が接続されたポートごとに、VE-PG3のポート設定と一致するように下記から該当するものを選択します。

◎デジタル簡易無線機(登録局)：IC-D50、IC-D60、IC-DPR5、IC-DPR6、IC-D5005、IC-DPR1
◎デジタル簡易無線機(免許局)：IC-DU5505CN
◎特定小電力　：IC-4800、IC-4810
◎特定小電力(同時通話型)　：IC-MS4880
◎外部入出力機器　：無線機以外の機器が接続されている場合

※無線機が接続されたポートごとに、該当するものを上記から選択します。

3.「サイト」画面

③サイト設定(S)(つづき) …

❻CH番号 …………………… 無線機が接続されたポートごとに、無線機に設定した通話チャンネルを選択します。 (出荷時の設定:CH1)

※[無線機モデル]欄で設定した無線機により、選択できる通話チャンネルが切り替わります。

◎デジタル簡易無線機(登録局)の場合

CH1～CH14、呼出CH、CH16～CH30

◎デジタル簡易無線機(免許局)の場合

CH1～CH65

◎特定小電力/特定小電力(同時通話型)の場合

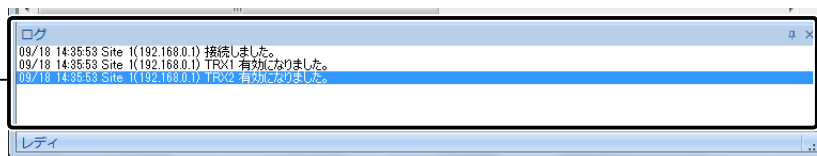
CH1～CH20、中継CH1～中継CH27

※[無線機モデル]欄で「外部入出力機器」が設定されている場合は、何も表示しません。

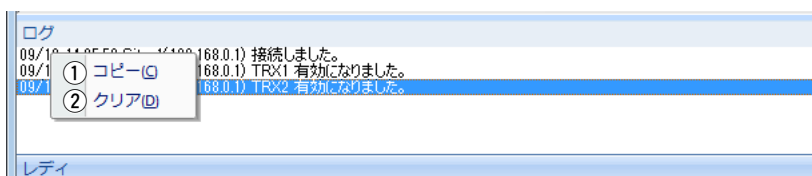
❼〈初期化〉…………………… 「サイト設定」画面の設定内容を初期化するときに、クリックします。

※初期化した内容は、〈OK〉をクリックするまで有効になりません。

4.「ログ」画面

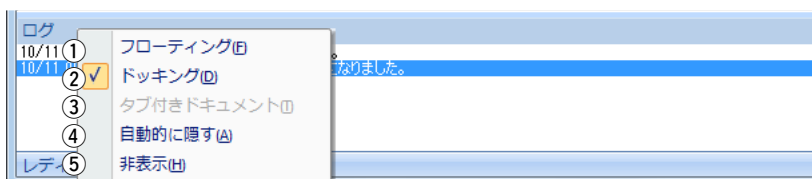
RS-PG3がVE-PG3に接続したり、VE-PG3に接続された無線機が送信状態や送信停止状態になったりすると、動作履歴が残ります。この履歴をログといいます。

RS-PG3を起動すると、ログ収集を開始します。
ログファイル保存の設定(☞P2-8)が有効なときは、ログを操作画面上に表示するとともに、ログファイルに保存されます。
※最大1000行まで表示でき、それ以降は古い情報が削除されます。

■ログについて

「ログ」画面内を右クリックすると、下図のようにメニューが表示されます。

①**コピー(C)** ……………………　「ログ」画面に表示しているログをすべてクリップボードにコピーします。

②**クリア(D)** ……………………　「ログ」画面に表示しているログをすべて削除します。

■「ログ」画面の表示について

「ログ」画面のタイトル(ログ)部分を右クリックすると、下図のようにメニューが表示されます。

①**フローティング(F)** ………　「ログ」画面だけを別画面で表示します。

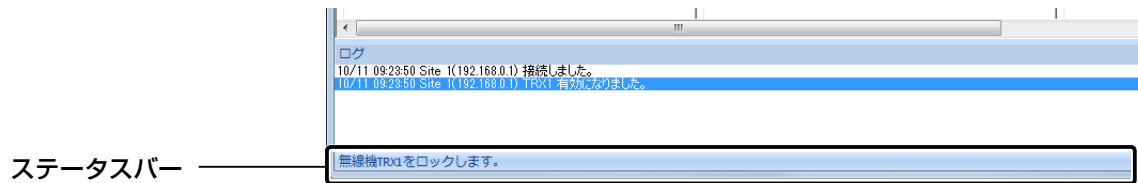
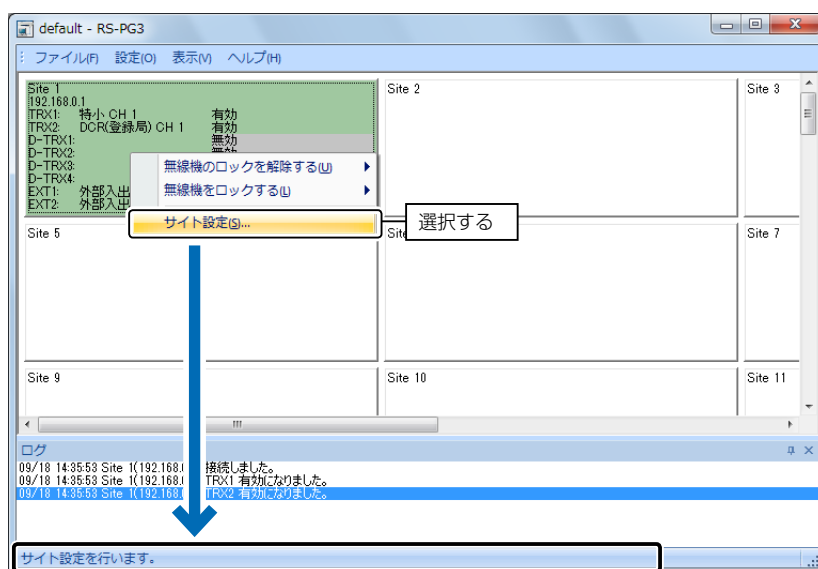
②**ドッキング(D)** ……………　「ログ」画面が操作画面と一体になります。(出荷時の設定：✔ドッキング(D))

③**タブ付きドキュメント(T)**　このメニューは常に無効(グレー表示)となります。

④**自動的に隠す(A)** …………　使用しないあいだ、自動的に「ログ」画面を隠します。

⑤**非表示(H)** ……………………　「ログ」画面を表示しません。
※「ログ」画面を表示する場合は、メニューバーの「表示(V)」→「ドッキングウィンドウ(T)」→「ログ」の順に操作してください。(☞P2-9)

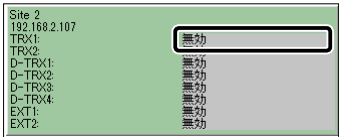
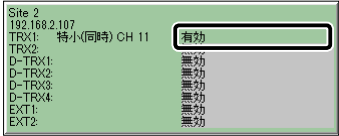
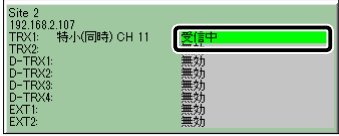
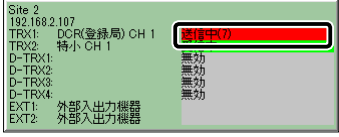
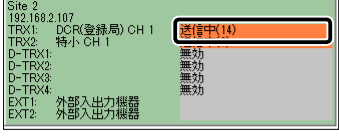
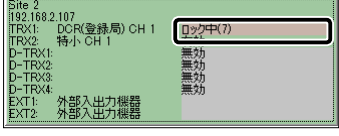
5. ステータスバー

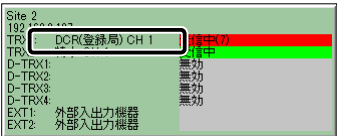
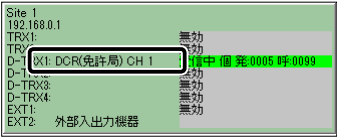
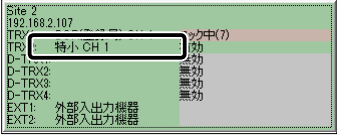
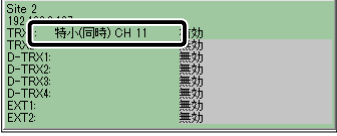
操作画面で選択した項目の説明が、ステータスバーに表示されます。

たとえば、「サイト設定(S)...」を選択すると、下図のように説明がステータスバーに表示されます。

サイトの状態表示について

第 3 章

この章では、
管理するサイトの状態表示について説明します。

3　サイトの状態表示について

1. サイトの背景色について

背景色によって、各サイトの動作状況を確認できます。

背景色	状態	表示例
白	未使用のサイト	Site 1
緑	VE-PG3への接続認証が成功して監視状態のサイト	Site 2 192.168.2.107 TRX1: 無効 TRX2: 無効 D-TRX1: 無効 D-TRX2: 無効 D-TRX3: 無効 D-TRX4: 無効 EXT1: 無効 EXT2: 無効
桃	VE-PG3への認証が失敗して使用できないサイト	Site 2 192.168.2.107 TRX1: 無効 TRX2: 無効 D-TRX1: 無効 D-TRX2: 無効 D-TRX3: 無効 D-TRX4: 無効 EXT1: 無効 EXT2: 無効
灰	VE-PG3への接続が失敗して使用できないサイト、 またはサイト設定が「無効」になっているサイト	Site 1 192.168.2.109 TRX1: TRX2: D-TRX1: D-TRX2: D-TRX3: D-TRX4: EXT1: 外部入出力機器 EXT2: 外部入出力機器

2. 無線機の状態表示について

文字と背景色によって、VE-PG3に接続されている無線機への制御状態を確認できます。

文字	背景色	状態	表示例
無効	灰	無線機が接続されていない、または無線機が使用できない状態	
有効	緑	無線機が接続され、使用できる状態	
受信中	黄緑	無線機から受信中	
送信中(秒)	赤	無線機への送信中	
	橙	無線機への送信中、および無線機から受信中	
ロック中(秒)	茶	無線機への送信を停止中	

3. 無線機モデルについて

「サイト設定」画面(☞P1-5、P2-14)で設定した無線機モデルは、サイトでは下記のように表示されます。

無線機モデルの名称	サイトでの表示	表示例
デジタル簡易無線機(登録局)	DCR(登録局)	
デジタル簡易無線機(免許局)	DCR(免許局)	
特定小電力	特小	
特定小電力(同時通話型)	特小(同時)	

ユーザーID/パスワードの再設定

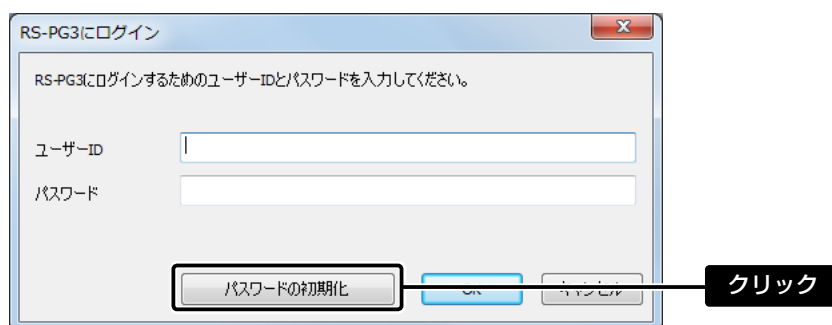
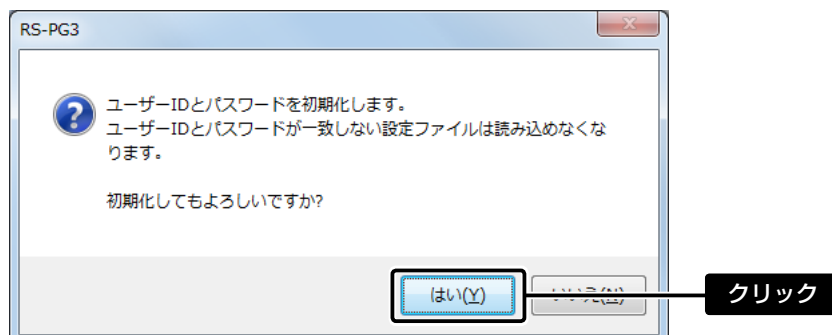
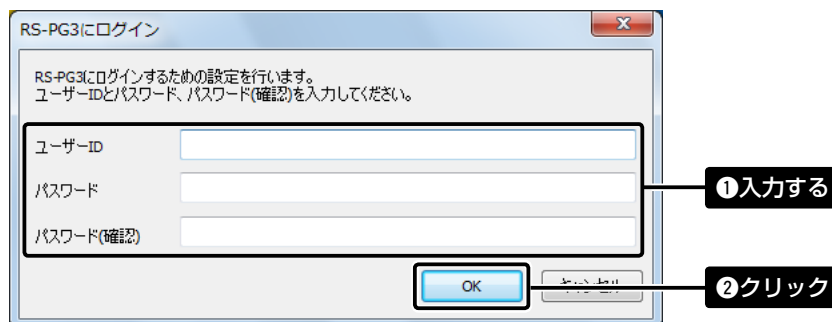
第 4 章

この章では、
ユーザーID/パスワードの再設定について説明します。

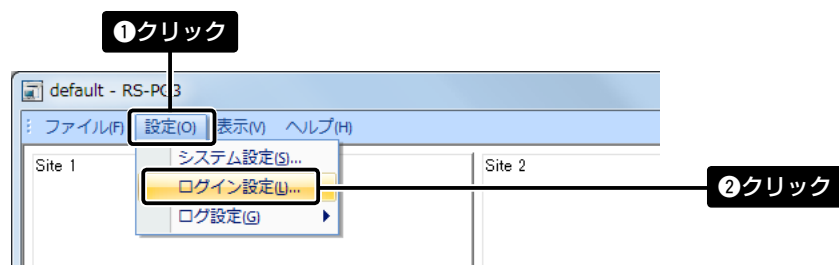
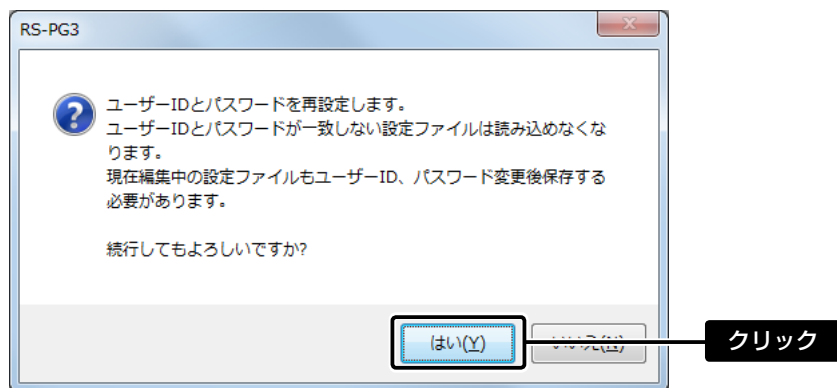
1. ログイン画面から再設定する

設定したユーザーID、パスワードが不明な場合、下記の手順で再設定してください。
※再設定すると、過去に作成した設定ファイル(☞P1-7)は、ユーザーID、パスワードが一致しないと読み込めませんのでご注意ください。

1 RS-PG3を起動します。(☞P1-2)

2 〈パスワードの初期化〉をクリックします。

3 〈はい(Y)〉をクリックします。

4 任意の31文字以内で、新しいユーザーIDとパスワードを設定します。
[ユーザーID]と[パスワード]、[パスワード(確認)]を入力して、〈OK〉をクリックします。
RS-PG3の操作画面が表示されます。

2.「ログイン設定(L)」メニューから再設定する

設定したユーザーID、パスワードを、RS-PG3起動中に変更する場合、下記の手順で再設定してください。

1 メニューバーの「設定(O)」→「ログイン設定(L)」をクリックします。

2 〈はい(Y)〉をクリックします。

3 任意の31文字以内で、新しいユーザーIDとパスワードを設定します。
[ユーザーID]と[パスワード]、[パスワード(確認)]を入力して、〈OK〉をクリックします。
※再設定が完了したら、1-7ページの手順で設定ファイルを保存してください。